

診断の方法論検討及び効果検証に係る 分科会(第一分科会)からの中間報告

-
1. 第一分科会において議論された内容
 2. うちエコ診断員の募集・研修について
 3. うちエコ診断ソフト開発について
 4. 地域別診断試行の実施状況及び効果検証について

1. 第一分科会において議論された内容

1-1. 第一分科会において議論された内容

うちエコ診断の実施・検証及び全体取りまとめを分科会1で実施する必要がある。

検討会、分科会を含めた全体の効果検証方針について整理を行い、第一分科会において、対策実施率および受診者満足度の分析を行う。(資料2-1 4-2.)

診断の効果に診断員のスキルと知識が大きく寄与するため、診断員及び受診者の属性と、削減項目及び実施率についての分析を行い、研修方法の改善、ベストプラクティスの集約と診断員の要件を抽出することが必要である。

今年度養成した診断員の属性別に取りまとめた上で、効果検証及び分析を行った上で、診断員の要件及び研修方針について課題の整理、検討を行う。(資料2-1 4-2.)

また、今後どういう人材を診断員の対象とすべきかという点の参考とするため、診断員の所属や背景についても分析を行う。

診断効果を向上させるためには、ソフトの改良に限らず、次年度に向けて、診断そのものの方法論についても検討の必要がある。

効果検証の目的の一つとして検討を行う。(資料3 2-5.)

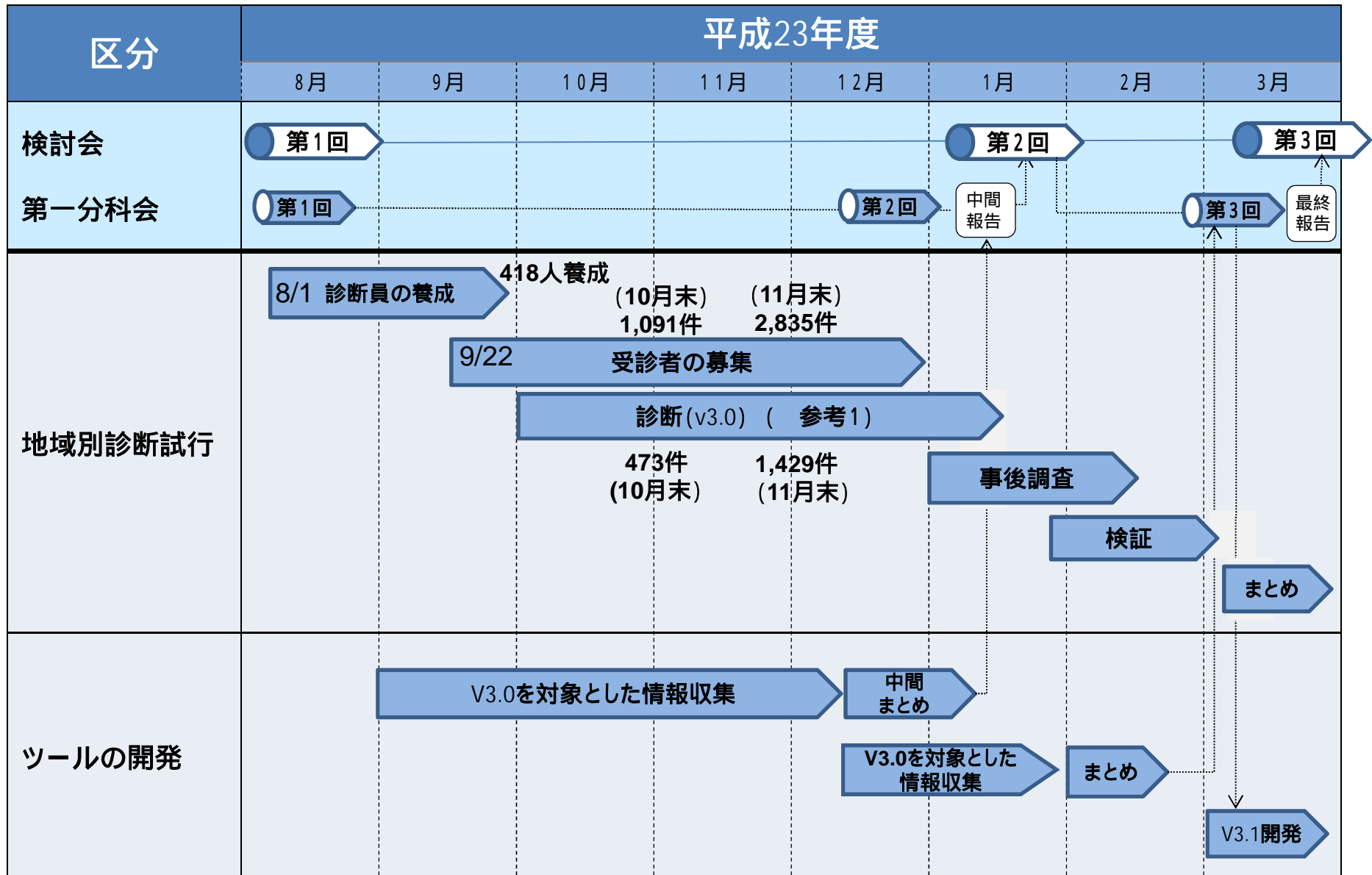
診断員の養成研修については、本年度の養成結果を踏まえ、次年度以降の養成方針を取りまとめ、具体的な研修会の研修内容の再整理を実施する必要がある。

養成結果を踏まえて、環境コンシェルジュ制度に向けた養成方針を取りまとめた。(資料2-1 2-7.)
また、本年度診断員に対する次年度の研修のあり方(フォローアップ研修への移行等)の検討を行う。

受診数を増やす方策について、方針を示しておく必要がある。

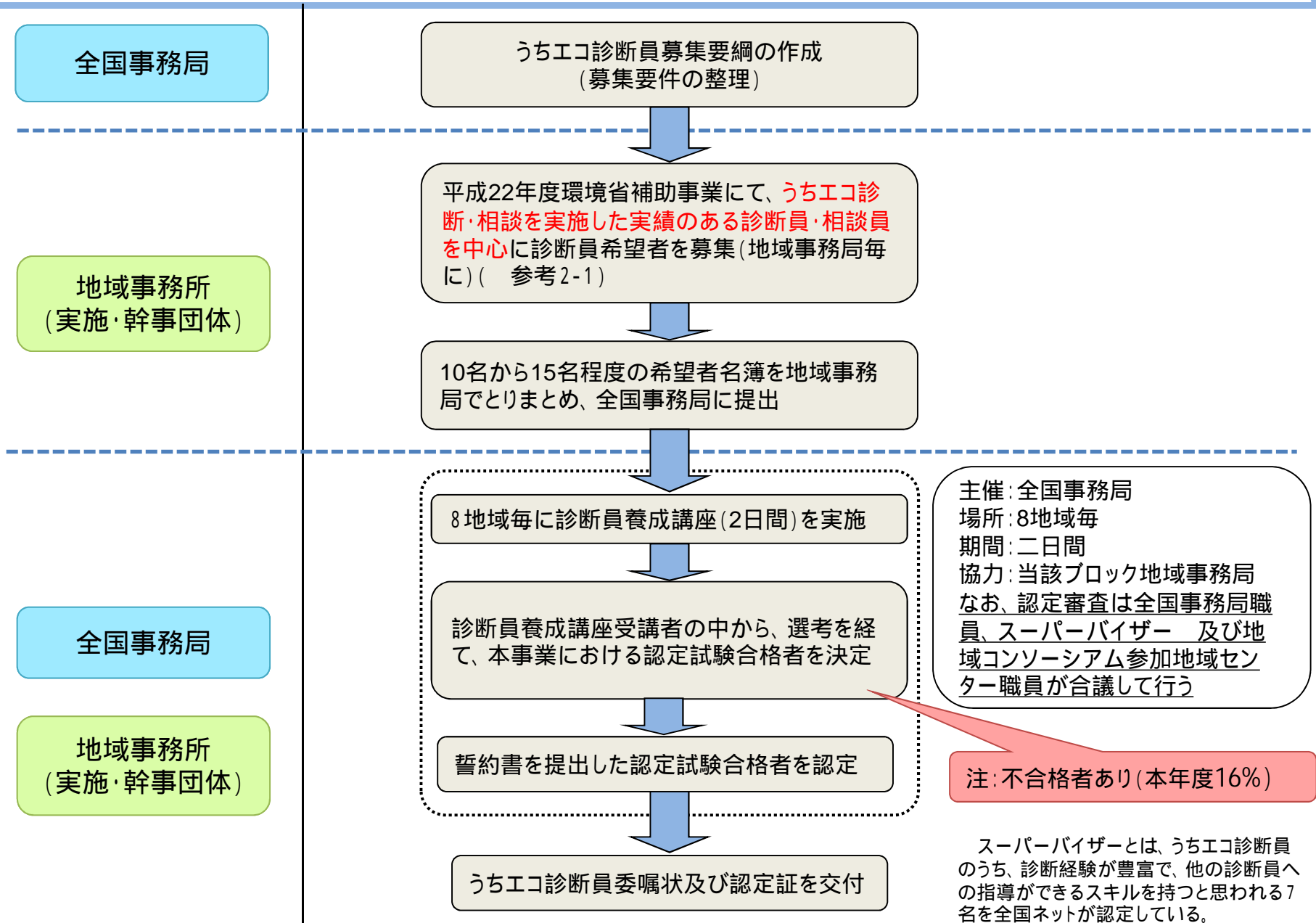
3 受診者募集に関しては、マーケティングなどを活用して、第二分科会での議論が適切ではないか。

1-2 . 事業実施のスケジュール



2. うちエコ診断員の募集・研修について

2-1. H23年度の診断員養成の流れ



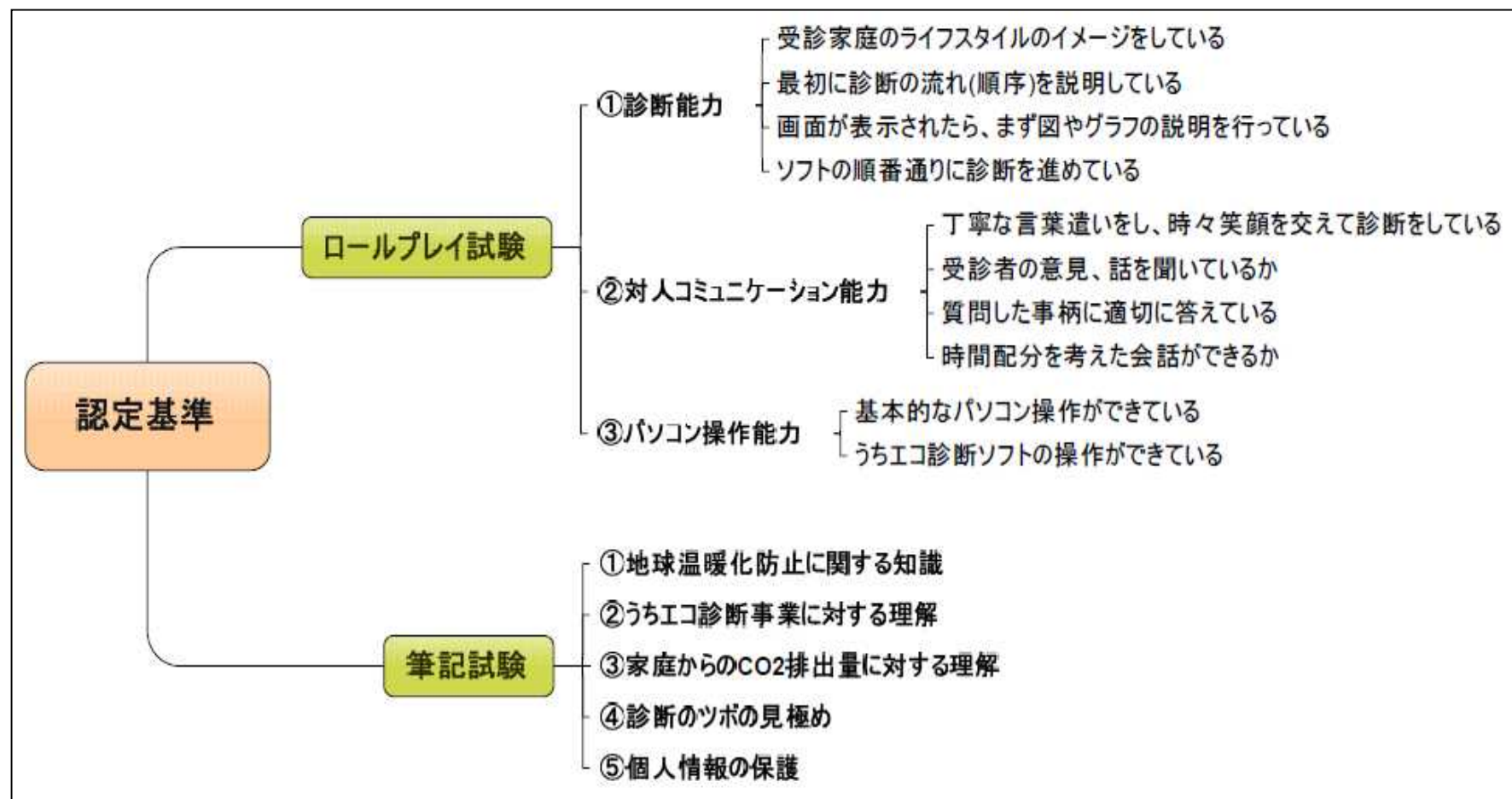
2-2. うちエコ診断員研修の内容

全国8ブロック共通で以下の2日間のスケジュールで研修を実施した。

1日目	2日目
<p>< 第1講座 > (座学) < 30分 > 地球温暖化に関する基礎知識 ・地球温暖化の最新動向 ・事業目的 ・東日本大震災後の動向</p>	<p>< 第5講座 > (座学) < 60分 > スーパーバイザーによるデモ診断 ・デモ診断(50分程度)+質疑応答</p>
<p>< 第2講座 > (座学) < 60分 > 家庭における対策に関する基礎知識 ・家庭におけるエネルギーの使用状況 ・家庭からのCO2排出量 ・家庭における削減対策事例</p>	<p>< 第6講座 > < 30分 > 個人情報・倫理規定 ・うちエコ診断における個人情報漏洩のリスク ・予防措置としての対策 ・倫理規程</p>
<p>< 休憩 > 診断ソフトのインストール < 20分 ></p>	<p>< 認定試験:筆記試験 > < 30分 ></p>
<p>< 第3講座 > (座学+ソフトの操作) < 60分 > 診断ソフトの操作方法 ・うちエコ診断の流れ(座学) ・診断のポイント(うちエコ診断ソフトの操作)</p>	<p>< 確認試験:ロールプレイング試験 > < 120分 > ・事前説明 ・ロールプレイによる診断試験</p>
<p>< 第4講座 > 模擬診断 < 100分 > ロールプレイング ・二人一組で診断を体験(説明、40分程度×2ターン)</p>	<p>(認定会議) ・筆記試験とロールプレイング試験による合格者の決定</p>

2-3. 家庭エコ診断員選考方法

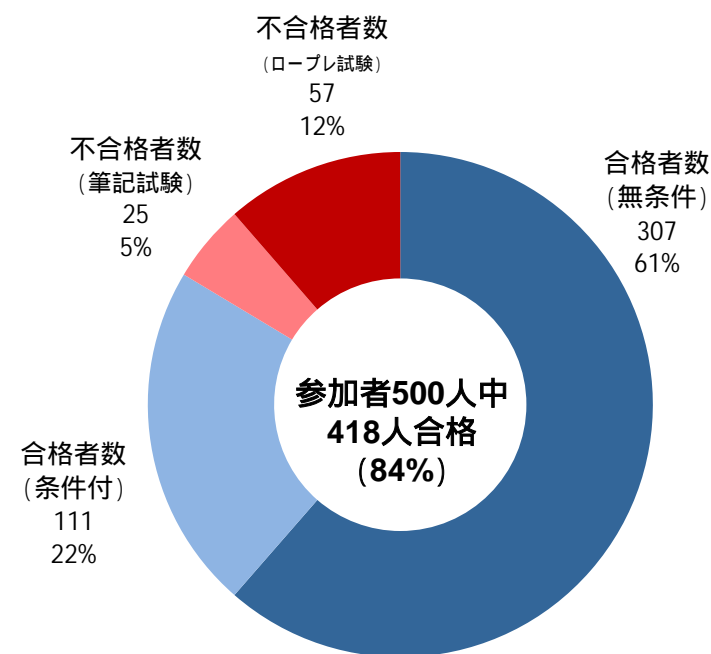
研修カリキュラムに基づき研修を行い、以下の認定基準に示す2つの試験を実施し、共に基準を満たしたものを合格者とし、さらに、うちエコ診断員要綱を説明した上で、誓約書を提出した合格者をうちエコ診断員として認定した。



2-4 . 認定試験結果の概要

- ・平成23年度に実施した認定試験のうち、筆記試験とロールプレイング試験による合格率の概要を以下に示す。
- ・不合格となった参加者のうちで、約7割がロールプレイング試験が不合格であった。
- ・合格者の中でも、審査員からの指摘を受け、地域事務局のフォローを前提とした合格者は、約3割であった。(参考2-2、2-3)

ブロック名	参加者人数	合格人数	合格率
北海道	31	31	100%
東北	76	58	76%
関東北	59	43	73%
関東南	45	37	82%
中部	45	34	76%
近畿	78	65	83%
中四国	86	77	90%
九州沖縄	80	73	91%
合計	500	418	84%

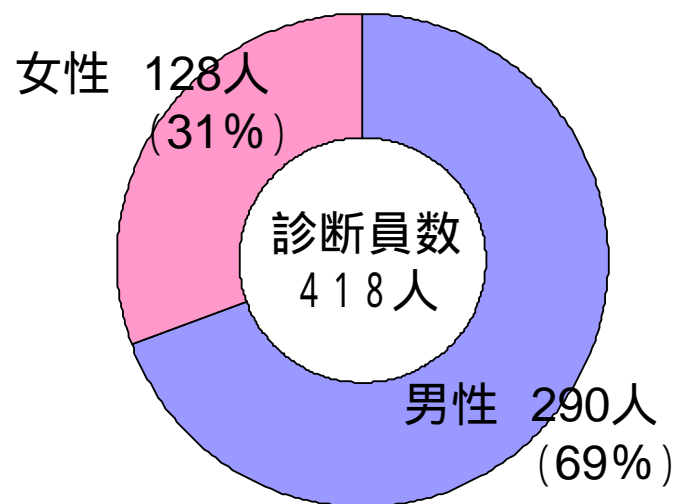


%は小数点以下の処理により合わない場合がある

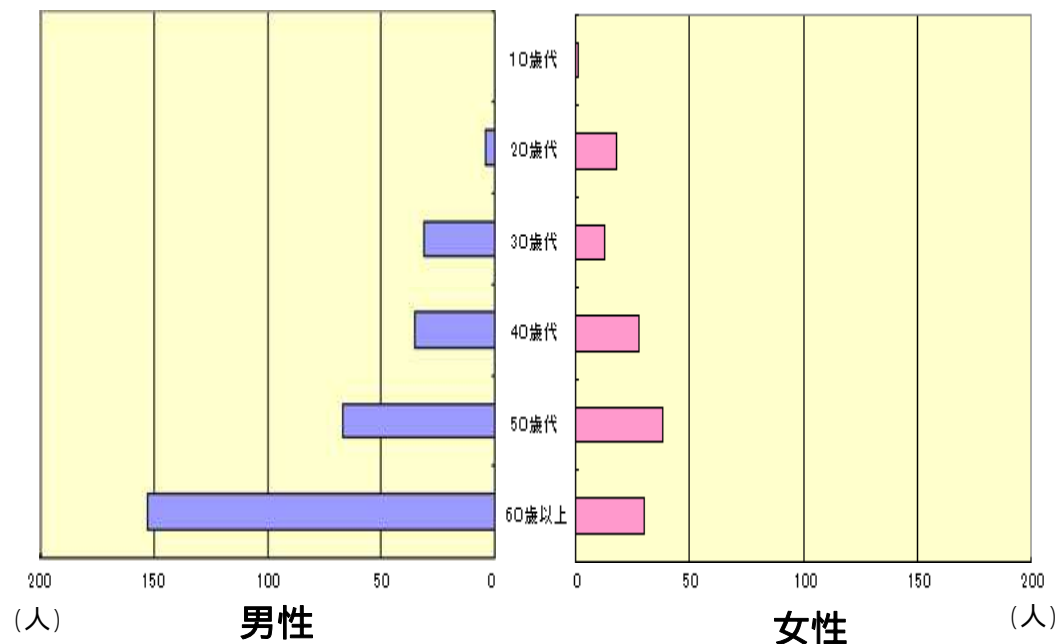
2-5. うちエコ診断員養成結果

- ・うちエコ診断員の男女別比率はおおよそ、7:3(男性:女性)であった。
- ・うちエコ診断員の年齢(年代)構成は、男性の場合、60歳以上が最も多くなっているのに対して、女性の場合は、50歳代を中心に男性の場合ほどの差は見られない。

うちエコ診断員男女比率



うちエコ診断員年齢(年代)構成

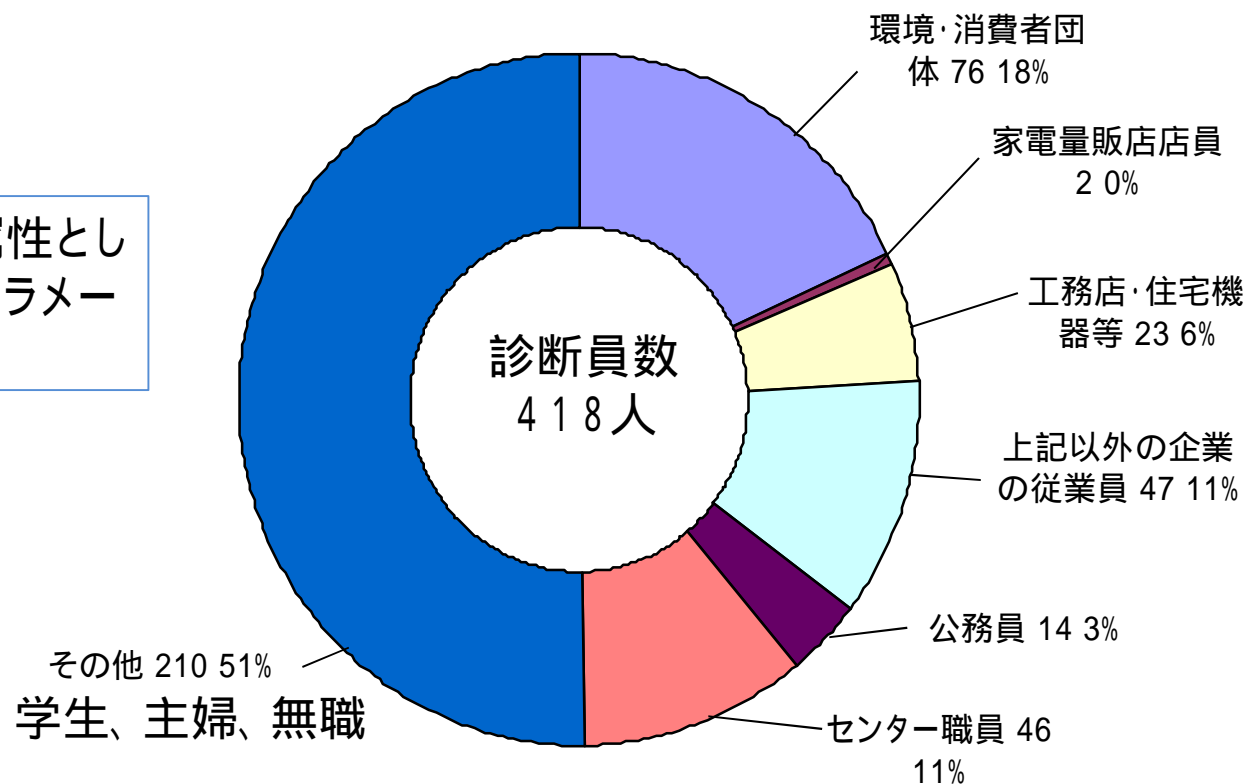


診断員属性として分析パラメータに使用

2-6. うちエコ診断員養成結果

- ・うちエコ診断員の職業別の構成は、各種団体が最も多く、次いで家電・工務店関連以外の企業の従業員となっていた。
- ・また、その他が最も多くの割合を占めているが、学生、主婦、退職後の方、などであった。さらに、年齢構成を見ると、60歳未満のうちエコ診断員は120人、60歳以上のうちエコ診断員は90人、となっていた。

診断員属性として分析パラメータに使用



2-7. 今後うちエコ診断員をどう養成すべきか

- ・平成23年度のうちエコ診断員の養成研修および本年度の診断を踏まえて、次年度の追加養成研修においては、以下の点について注目する必要があると思われる。
- ・うちエコ診断の実施には、基礎知識に加えて、(自身の経験を踏まえた)提案力およびコミュニケーション力に注目する必要があると考えられる。

平成23年度に実施した養成項目 → 今後の環境コンシェルジュ制度に向けた養成方針(案)
<座学>

基礎知識

- ・地球温暖化問題・日本の状況
- ・家庭における対策と提案のツボ
- ・事業の理解

提案力

- ・SVによるデモ診断
- ・過去の診断事例における診断のポイント
- 個人情報管理・消費者問題
- ・PCの取り扱い
- ・診断ソフトの操作

<ロールプレイング実習>

診断能力

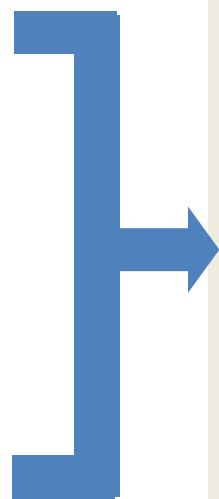
- ・受診者のライフスタイルをイメージした診断
- ・ソフトの流れに沿った診断

コミュニケーション力

- ・言葉遣いや傾聴の態度
- ・的確な応答
- ・時間の厳守

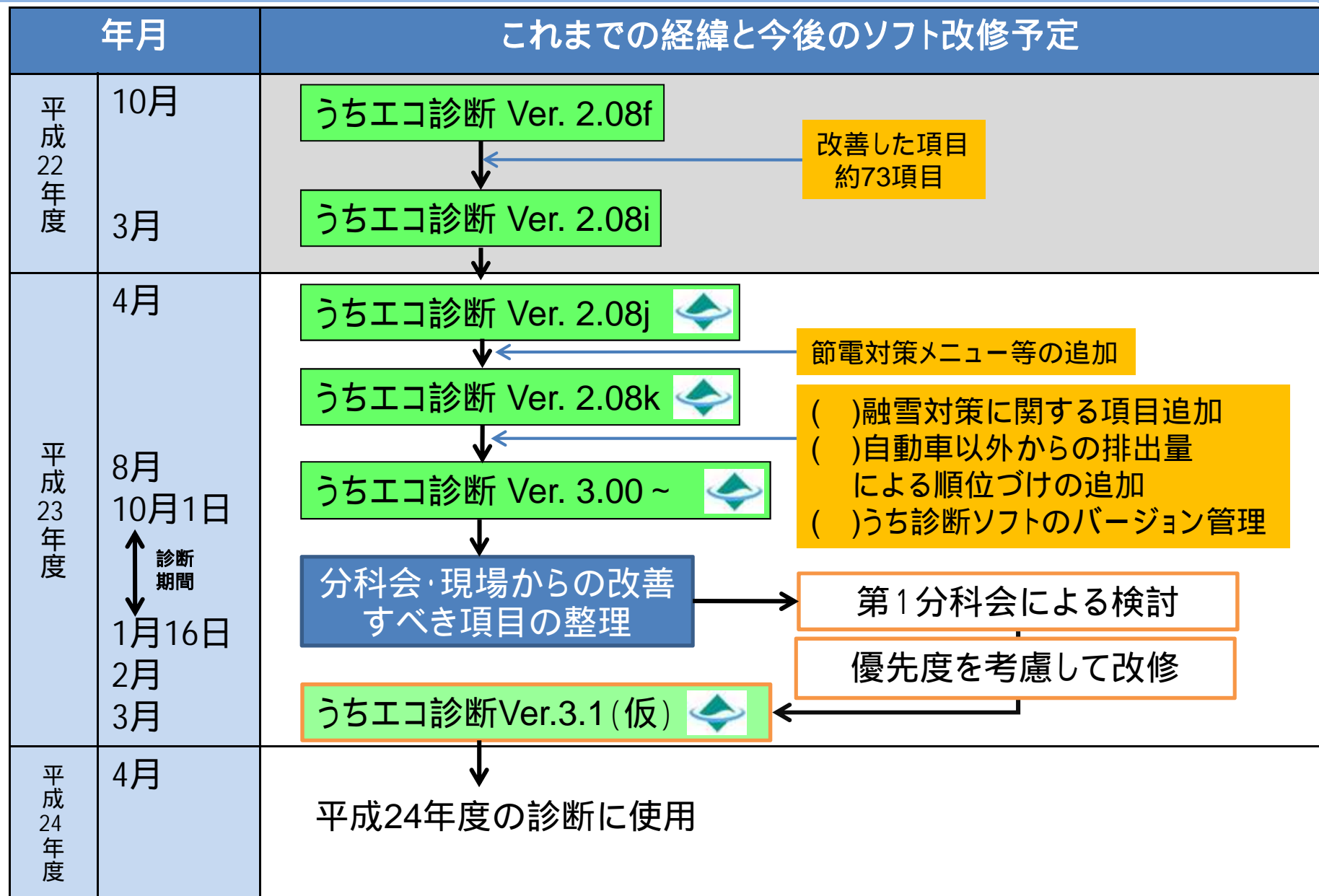
パソコン・ソフトの操作力

- ・PCの取り扱い
- ・診断ソフトの操作



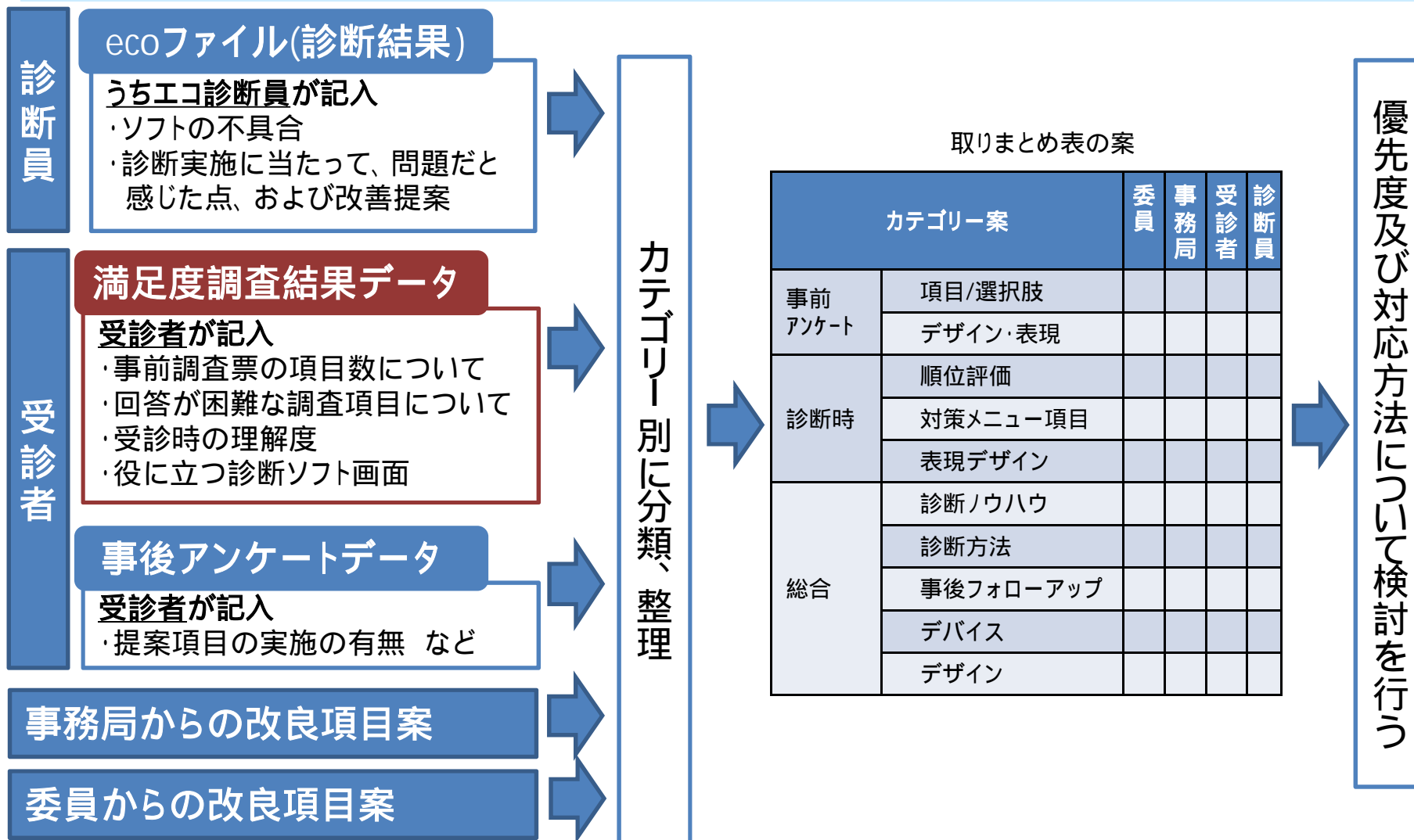
3. うちエコ診断ソフト改修について

3-1. ソフトのこれまでの経緯と今後の改修予定



3-2. ソフト改修に係る情報収集について

本年度事業において各主体からソフトの改修に係る情報を収集し、カテゴリー別に分類、整理を行い、優先度等について検討を行う予定である。



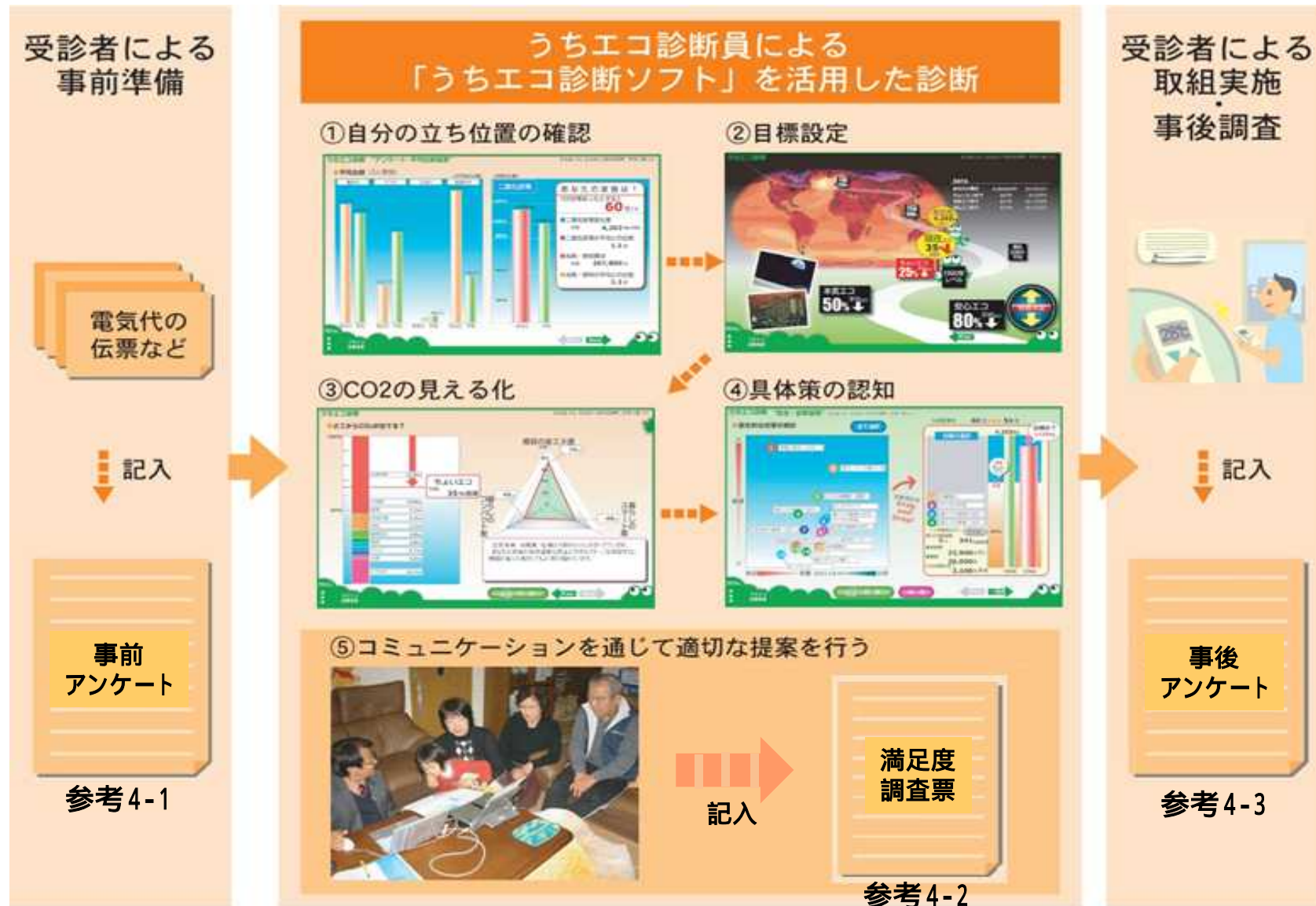
3-3. 次年度に向けてのソフト改良案(10月末時点)

10月までに取りまとめた意見のうち、優先的に改良が必要であると思われる項目案について取りまとめた。1月中の診断終了時点において最終取りまとめを予定。

項目	具体的な課題の内容	改良方針案															
(1)リフォーム断熱機能の評価の見直し	・事前アンケートで住宅の建築年代は聞いているが、事後にリフォーム断熱等を行った場合、冷暖房の評価に差が出てくる。	・事前アンケートでリフォーム断熱(壁、床、天井、開口部)を行ったかについて項目を追加し、冷暖房の評価に加える。															
(2)世帯構成情報取得に向けた改良	・受診者の家族構成等についての情報が事前にあると、提案する対策メニューに関するシュミレーションが十分でき、実情により適合した診断になる。 ・診断時において特に若い方や女性に対しては、なかなか家族構成等を聞き出しにくく、どこまで聞き出してよいか迷う。	・事前アンケートの中で、年代別及び男女別の構成人数を聞く項目を追加する。 世帯構成に関する質問案 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0歳～10歳</th> <th>10歳～20歳</th> <th>20歳～60歳</th> <th>60歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0歳～10歳	10歳～20歳	20歳～60歳	60歳～	男	1		2	1	女	1			
	0歳～10歳	10歳～20歳	20歳～60歳	60歳～													
男	1		2	1													
女	1																
(3)給湯器等の買い替え時のコスト評価についての見直し	・現在のソフトでは、製品の買い替えは、初期投資額(機器代)とその後の光熱費額を足し合わせて、買い替えなかった場合と比較して寿命まで元が取れるか評価している。 ・寿命末期や壊れたときの買い替えなど、必ず購入が必要となる場合においては、その初期費用として高効率機器の費用のみを対象とするのは、実情を正しく評価していない可能性がある。	・このような製品(給湯器等)の特定と、デフォルト設定のあり方の検討を行う。 ・初期投資額(機器代)と光熱費額ではなく、省エネ機器と普及型機器の値段の差額と光熱費額をもとに評価する。															

4 . 地域別診断試行の効果検証および 実施状況について

4-1. うちエコ診断の流れ



4-2. 地域別試行実施の効果検証方針

- うちエコ診断の目的は、家庭部門からのCO2排出量の削減を進めるために、受診家庭に対して実効性のある(実施できる)削減対策を提案するとともに、うちエコ診断を通じて実施率が高い(実施しやすい)ことが判明した削減対策を、受診家庭以外に対しても情報提供していくことである。
- この目的の達成に向けて、本年度事業における地域別試行実施では、その実施効果をまとめるにあたって、診断の実効性の観点から、以下の項目について検証する。

対策実施率の検証

- 気候区分別に提案された対策項目とその効果(提案対策の実施率、削減量等)を検証し、ソフトの改修に役立つ情報を整理する。(地域別)
- 受診家庭の属性(世帯人数等)による実施率の傾向分析を行い、次年度以降の診断ガイドライン等の策定に役立つ情報を整理する。(受診者属性別)
- 次年度以降の診断員の養成に資するため、診断員の属性ごとの提案項目とその効果について分析する。(診断員別)

受診者満足度の分析

- 次年度以降の診断手法の改善、対策提案の改善、受診世帯数の増大に繋げることを目的に、満足度と関連性の強い対策提案や診断員の属性等の傾向を分析する。

HEMS実測データによる分析(第三分科会)

- 対策の効果定量化と要因分析の結果を、上記 と の検証時に加えて分析する。

4-3 . 本年度のうちエコ診断で得られるデータとその関連

うちエコ診断から得られる削減量に関するデータ

A . 受診者管理データ

- ・受診者ID
- ・年齢(歳代)
- ・世帯人数
- ・郵便番号
- ・自宅住所
- ・診断方法(訪問診断、窓口診断、会場診断)
- ・各過程の日付(受付、アンケート送付・回収、診断等)等

-2 対策実施率の検証(地域別)

参考4-5

B . ecoファイル(診断結果)

- ・受診者ID
- ・診断員ID
- ・事前アンケートの内容(地域属性、世帯属性、住居属性、消費エネルギー種別及び量)
- ・うちエコ診断時の提案項目および削減ポテンシャル(kg/年)
- ・選択した提案項目および削減ポテンシャル(kg/年)
- ・選択した提案項目による節約金額(円/年)
- ・診断に要した時間
- ・受診時の参加者(父、母、子、祖父、祖母等)等

-1 対策実施率の検証(受診者属性別)

参考4-4

-3 対策実施率の検証(診断員別)

C . 事後アンケートデータ

- ・受診者ID
- ・診断員ID
- ・うちエコ診断時の提案項目およびその削減量(kg/y)
- ・選択した提案項目およびその削減量(kg/y)
- ・各項目の実施の有無(すでに実行、近く実施予定)等

HEMSデータによる検証

参考4-6

うちエコ診断時に得られる満足度に関するデータ

D . 満足度調査結果データ

- ・受診者ID
- ・診断員ID
- ・受診前のうちエコ診断への期待度
- ・受診前の印象(役に立つ等)
- ・事前調査表の項目数について
- ・回答が困難な調査項目
- ・受診時の理解度
- ・役に立つ診断ソフト画面
- ・受ける前と後の印象

受診者満足度との関連

参考4-7

診断員養成研修で得られたデータ

E . 診断員属性データ

- ・診断員ID
- ・年齢
- ・性別
- ・職業(団体職員、公務員等)
- ・地球温暖化防止推進(ON/OFF)等

F . HEMS実測および解析データ

- ・受信者ID
- ・診断員ID
- ・HEMSデータ、オフライン収集データ
- ・事後アンケートデータ

參考資料

参考1. 地域別試行実施状況(11月30日時点)

地域	目標数	実施予定件数		実施件数	
北海道	300	235	78%	195	65%
東北	600	366	61%	95	16%
北関東	500	137	27%	58	11%
南関東	400	174	43%	67	16%
中部	400	332	83%	141	35%
近畿	800	729	91%	401	50%
中四国	700	626	89%	287	41%
九州・沖縄	700	537	76%	185	26%
合計	4,400	3,136	71%	1,429	32%

参考2-1. うちエコ診断員募集要件

診断員養成研修会への参加は、以下の募集要件をすべて満たした方という条件で、各地域事務局経由で募集を実施した。

募集要件		内容
1	対人コミュニケーション能力	診断を受ける方との良好なコミュニケーションが可能な方
2	環境・エネルギーに関する知識、経験	診断員として、積極的に診断活動に参加できる方 (今年度中に10件程度診断頂ける方)
3	うちエコ診断の経験	平成22年度うちエコ診断・相談事業において、うちエコ診断ソフトを使用した診断・相談の実績がある方、またはそれに準じる活動実績がある方
4	パソコン、E-mailに習熟	パソコン・プリンターの機器を容易に操作でき、E-mailを利用できる方。 また、可能な限り診断に使用できるノートパソコンを持っている方。
5	研修会への参加	各地域ブロックで開催するうちエコ診断員研修会(2日間)に参加できる方。

参考2-2. 認定試験結果(筆記試験)の概要

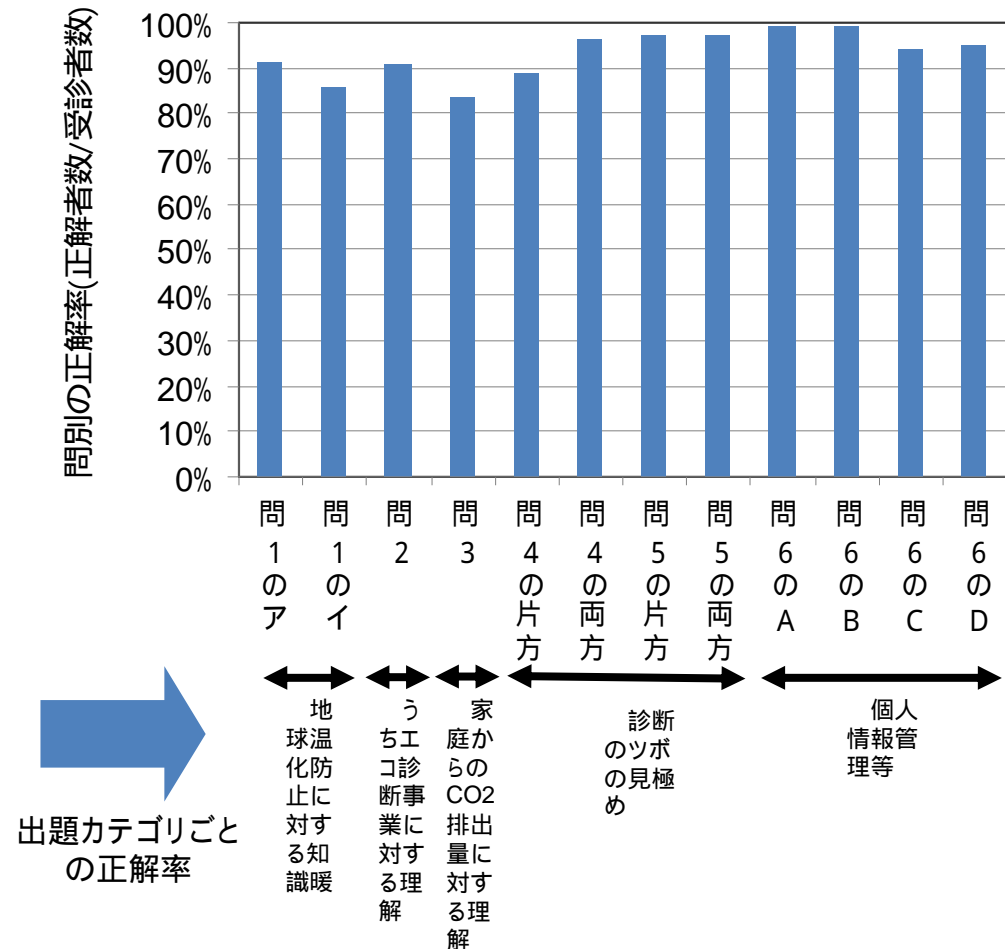
筆記試験では、以下に示す講義内容をもとに、出題カテゴリを構成し、全6問を出題した。出題カテゴリごとの正解率を以下のグラフに示す。

平成23年度の研修会で筆記試験に対応する講義内容

- 基礎知識
 - ・地球温暖化問題・日本の状況
 - ・家庭における対策と提案のツボ
 - ・事業の理解
- 提案力
 - ・SVによるデモ診断
 - ・過去の診断事例における診断のポイント
- 個人情報管理・消費者問題
 - ・PCの取り扱い
 - ・診断ソフトの操作

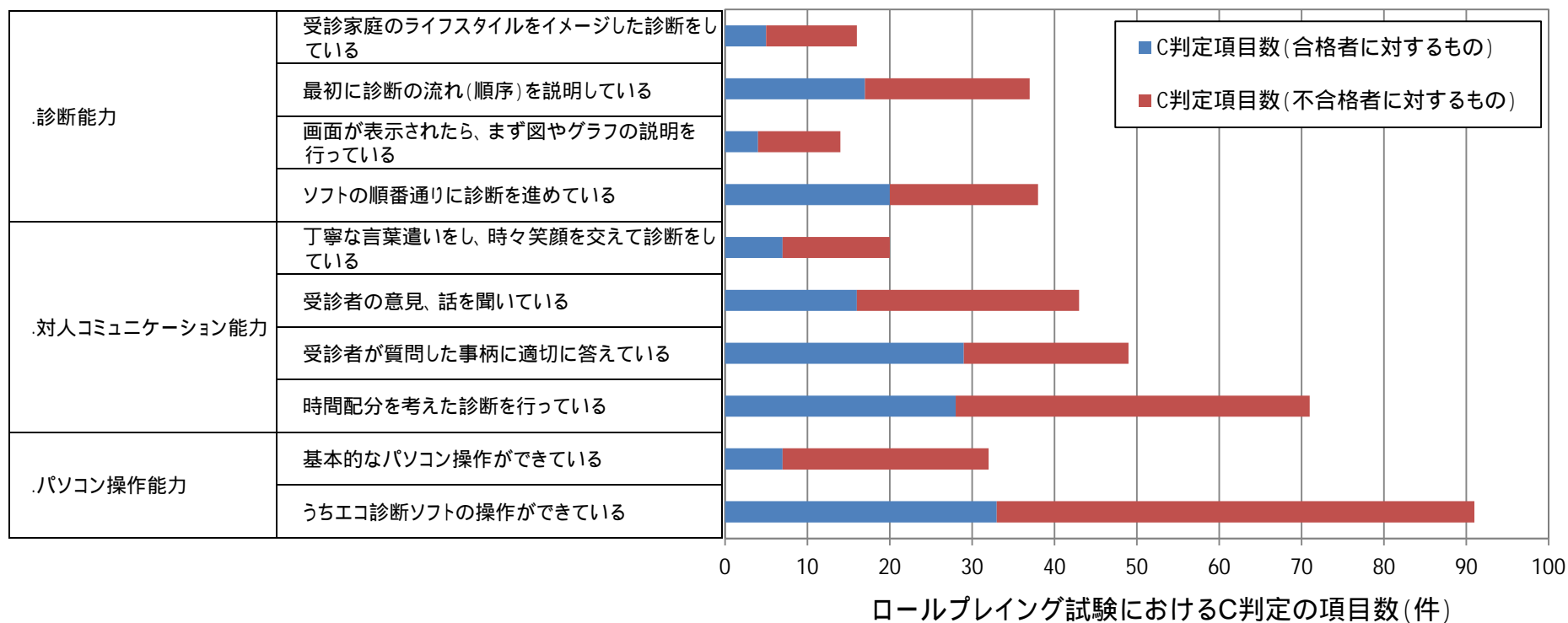
< 筆記試験の出題カテゴリ >

地球温暖化防止に対する知識
 うちエコ診断事業に対する理解
 家庭からのCO2排出量に対する理解
 診断のツボの見極め
 個人情報保護等



参考2-3. 認定試験結果(ロープレ試験)の概要

・ロールプレイング試験では、参加者一人につき、審査員3名で、評価シートを用いて、評価を行った。



参考4-1. 事前アンケート

うちエコ診断 事前調査票

以下の設問について、ご回答をお願いします。

ふりがな		世帯人数	人
お名前			
ご自宅住所	〒 _____ (道・都・府・県)	_____ (市・区・町・村)	

■個人情報の取扱いについて
事前調査票の情報は、診断結果のお知らせを目的とした利用に限定し、関係者以外の第三者への提供は一切いたしません。なお、本事業の全体的な結果、成果の取りまとめを行うため、情報の一部を統計処理することがございますが、個人が特定できる状態で外部に公表されることは一切ございません。

事務局記入欄

コード	
送付日	/ 返信日 / 入力確認 /
診断員	診断日 / 場所 /

設問1 診断にあたっての関心について

温暖化防止・省エネ行動へのご協力について (いずれか一つの□に✓)

積極的に実施したい できる範囲で 協力は難しい

うちエコ診断で知りたい内容 (あてはまるものすべての□に✓)

現在の自宅のエコロジー度 自宅でどこまでCO2を削減できるのか 省エネでお得になるのかどうか

家電製品の省エネ対策 (診断を希望する製品: _____)

暑さや寒さに関する省エネ対策と効果 商品・台所の省エネ対策と効果 交通の省エネ対策と効果

太陽光発電の費用と効果 その他 (_____)

設問2 お住まいについて

家の造り	<input type="checkbox"/> 一戸建て <input type="checkbox"/> 集合 <input type="checkbox"/> その他	家の所有	<input type="checkbox"/> 持ち家 <input type="checkbox"/> 持ち家でない
屋根の日当たり	<input type="checkbox"/> よい <input type="checkbox"/> 少し遮る <input type="checkbox"/> 悪い	太陽熱温水器	<input type="checkbox"/> 利用している <input type="checkbox"/> 利用していない
太陽光発電	<input type="checkbox"/> 設置している (_____) kW <input type="checkbox"/> 設置していない		
延べ床面積	<input type="checkbox"/> 5坪 (15㎡) <input type="checkbox"/> 10坪 (30㎡) <input type="checkbox"/> 15坪 (50㎡) <input type="checkbox"/> 20坪 (65㎡) <input type="checkbox"/> 30坪 (100㎡) <input type="checkbox"/> 40坪 (130㎡) <input type="checkbox"/> 50坪 (165㎡) 以上 <input type="checkbox"/> 分からない		
建築年代	<input type="checkbox"/> 昭和52 (1977) 年以前 <input type="checkbox"/> 昭和53 (1978) 年～平成3 (1991) 年 <input type="checkbox"/> 平成4 (1992) 年～平成12 (2000) 年 <input type="checkbox"/> 平成13 (2001) 年以降 <input type="checkbox"/> わからない		
断熱設計の配慮	<input type="checkbox"/> とても配慮した <input type="checkbox"/> 一定配慮した <input type="checkbox"/> 少し配慮した <input type="checkbox"/> 配慮しなかった <input type="checkbox"/> わからない		

設問3 エネルギーについて

ガスの種類	<input type="checkbox"/> 都市ガス <input type="checkbox"/> LPガス <input type="checkbox"/> 使っていない	料理用コンロの熱源	<input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 電気
お風呂の熱源	<input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 灯油 <input type="checkbox"/> 新	電気の夜間料金契約	<input type="checkbox"/> している <input type="checkbox"/> していない

設問4 電気・ガス・灯油代 (おおよその平均的な1カ月の金額)

	電気代 ※1	ガス代	灯油代 ※2
冬の1カ月の料金	円	円	円
春・秋の1カ月の料金	円	円	円
夏の1カ月の料金	円	円	円

※1 太陽光発電で発電している方は、購入額一桁未満の差額を記入ください。(発電量が多い方は、一〇〇円になります)
※2 灯油の消費量の削減が不況は場合は、ひと冬分の価格または量を以下のいずれかでお答えください。

A. ひと冬の灯油代がわかる場合	円/年
B. ホームタンクで購入している場合	タンク容量は _____ リットルタンクで _____ 回/年
C. ポリタンク (18L) で購入している場合	円/年

設問5 自家用車の燃料

自家用車	<input type="checkbox"/> ガソリン車 <input type="checkbox"/> 軽油車 <input type="checkbox"/> 使っていない	月平均燃料代	円 または リットル
------	---	--------	------------

設問6 部屋と冷暖房について

よく冷暖房する範囲は家のどの程度ですか? 家全体 半分以上 一部 一部屋のみ 使わない

日常的に使用している暖房器具はどれですか? (あてはまるものすべての□に✓)

エアコン
エアコン以外の電気暖房 (電気ストーブ、セラミックファンヒーター、電熱床暖房等)
ガス暖房 (ガスストーブ、ガス床暖房、ガスファンヒーター、ガスセントラル等)
灯油暖房 (石油ストーブ、石油ファンヒーター、石油床暖房、灯油セントラル等)
夜間蓄熱式暖房 (床暖房、床設置型、電気蓄熱式セントラル等)
薪・木質ペレット
即燃暖房を使わない (こたつやホットカーペットのみ)

	過ごすことの多い部屋名	エアコン定格能力(冷房)*	使用年数	品番 GS-360SR-W <small>※冷房機内部のラベルに記載されています</small>															
1		kW	年	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>定格能力</th> <th>消費</th> <th>期間標準</th> </tr> <tr> <td>3.6kW</td> <td>4.2kW</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定格消費電力</td> <td>735W</td> <td>760W</td> </tr> <tr> <td>エネルギー消費効率</td> <td>4.90</td> <td>5.56</td> </tr> <tr> <td>運転電圧</td> <td>7.90A</td> <td>7.70A</td> </tr> </table>	定格能力	消費	期間標準	3.6kW	4.2kW		定格消費電力	735W	760W	エネルギー消費効率	4.90	5.56	運転電圧	7.90A	7.70A
定格能力	消費	期間標準																	
3.6kW	4.2kW																		
定格消費電力	735W	760W																	
エネルギー消費効率	4.90	5.56																	
運転電圧	7.90A	7.70A																	
2		kW	年																
3		kW	年																

冷暖房の使い方

※冷房しない場合は、冷房機の記入不要	暖房	冷房
設定温度は何℃ですか	℃	℃
何カ月くらい冷暖房を使用しますか	ヶ月	ヶ月
1日に何時間使いますか	時間	時間

設問7 照明、家電製品

居間で利用している照明の種類 白熱球 蛍光灯・LED

廊下や使っていない部屋の照明をつけっぱなしにしていますか? はい いいえ

テレビを点けている時間 _____ 時間/日 ポット・ジャーの保温 している していない

衣類乾燥機の使用 毎日 2日に1回 週1~2回 月1~3回 使わない 持っていない

冷蔵庫の保有台数	台		ストッカーの保有台数		台	
	使用年数	定格内容量*	使用年数	定格内容量*		
主な冷蔵庫・ストッカーの使用年数と大きさについて	冷蔵庫 (1台目)	年	リットル	ストッカー (1台目)	年	リットル
	冷蔵庫 (2台目)	年	リットル	ストッカー (2台目)	年	リットル

設問8 お風呂・洗面

給湯機はエコキュートですか? はい いいえ わからない

浴槽の大きさ 1人用 1.5人用 それ以上

お風呂の使い方	夏の時節		夏以外の時節	
	浴槽にお湯をためる日数	1週間あたり _____ 日	1週間あたり _____ 日	
家族全員でシャワーを使う時間の合計	1日あたり _____ 分	1日あたり _____ 分		

洗面機でお湯を使う期間 使わない 2ヵ月 4ヵ月 6ヵ月 8ヵ月 10ヵ月 12ヵ月

設問9 交通利用

車の保有台数 持っていない 1台 2台 3台 4台 5台 6台

主に使う車の燃費 18km/L以上 13-17km/L 10-12km/L 7-9km/L 6km/L以下 わからない

車を使う行き先	主な行き先		訪れる回数として当てはまる頻度を〇で囲んで下さい		片道距離 (km)
	1ヶ所目	毎日、週5回、週2-3回、週1回、月2回、月1回			
2ヶ所目	毎日、週5回、週2-3回、週1回、月2回、月1回				km
3ヶ所目	毎日、週5回、週2-3回、週1回、月2回、月1回				km

以上で終了です。ありがとうございました。

参考4-2. 満足度調査

うちエコ診断 満足度調査

事務局記入欄	
受診者ID	
診断員ID	
診断日	

I うちエコ診断を受ける前の印象についてお聞きします。当てはまるものに☑をつけて下さい。

(1) うちエコ診断を知った際の第一印象はいかがでしたか？以下に挙げる各イメージ項目について、当てはまるものに☑をつけて下さい。

	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
“省エネに役立つ”	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
“楽しい”	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
“簡単”	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
“信頼できる”	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
“手間がかかる”	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(2) あなたは、うちエコ診断に対してどの程度期待していましたか。

大いに期待していた 期待していた どちらともいえない あまり期待していません 期待していません

II うちエコ診断の診断概要についてお聞きします。当てはまるものに☑をつけて下さい。

(1) 受けた診断サービスの質を踏まえ、事前調査票についてご回答ください。

1) 事前調査票の記入量は適切でしたか？

多すぎた やや多かった 適切だった やや少なかった 少なすぎた

2) 事前調査票の質問の中で実態が分からず回答が難しかったものはありましたか？当てはまるもの全てに☑をつけて下さい。

季節別の光熱費 1カ月の自動車燃料代等 冷暖房の使用月数 冷暖房の使用時間
エアコンの使用年数と定格能力等 テレビを点けている時間 衣類乾燥機の使用頻度
冷蔵庫の使用年数と定格内容量 浴槽にお湯をためる日数 シャワーを使う時間
車の燃費 車の先先ごとの距離
その他 (内容をお書き下さい)

(2) 診断ソフトについてご回答ください。

1) 今後の省エネ・CO2削減対策を進める上で“特に役に立った”と思う診断項目を選択ください。当てはまるもの全てに☑をつけて下さい。

ランキング情報 家庭のCO2排出内訳 CO2削減目標設定 総合診断結果
分野別診断結果 (分野名:) 提案のページ 「元とれる？」
その他 (内容をお書き下さい)

2) うちエコ診断ソフトの内容は理解できましたか？

良く理解できた 理解できた 普通 あまり理解できなかった 理解できなかった
「あまり理解できなかった」または「理解できなかった」場合は、その理由を簡単に記入下さい。

3) うちエコ診断ソフトの情報量は適切でしたか？

多すぎた やや多かった 適切だった やや少なかった 少なすぎた

4) うちエコ診断ソフトの提示する内容は、事前に説明を受けた際のあなたの想像していた通りでしたか？

大体想像通りだった 想像よりも多少違っていた 想像より大分違っていた
「想像よりも多少違っていた」または「想像より大分違っていた」場合は、その理由を簡単に記入下さい。

うちエコ診断 満足度調査

(3) 診断員による提案内容はあなたがご家庭で取り組む上で、いかがでしたか？

とても良い 良い どちらともいえない やや悪い 悪い
「やや悪い」または「悪い」場合は、その理由を簡単に記入下さい。

(4) 今回診断を行った診断員の評価をお聞かせ下さい。

1) 診断員の訪問・診断態度はいかがでしたか。

とても良い 良い 普通 やや悪い 悪い
「やや悪い」または「悪い」場合は、その理由を簡単に記入下さい。

2) 診断員の説明やあなたのご質問に対する回答はいかがでしたか？

よく理解できた 理解できた 普通 あまり理解できなかった 理解できなかった
「あまり理解できなかった」または「理解できなかった」場合は、その理由を簡単に記入下さい。

3) 診断員はあなたの生活様式や層別の状況を十分に聞いた上で提案をしてくれましたか。

十分に聞いてくれた 聞いてくれた どちらともいえない あまり聞いてくれなかった 聞いてくれなかった

III うちエコ診断全体に対してお聞きします。当てはまるものに☑をつけて下さい。

(1) 申し込みプロセス等の手続きを含む、うちエコ診断についての総合的な満足度を選択ください。

とても満足 まあ満足 どちらともいえない やや不満 不満
「やや不満」または「不満」の場合は、その理由を簡単に記入下さい。

(2) 診断を受けた結果、うちエコ診断のイメージはどのようになりましたか？以下に挙げる各イメージ項目について、当てはまるものに☑をつけて下さい。

	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
“省エネに役立つ”	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
“楽しい”	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
“簡単”	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
“信頼できる”	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
“手間がかかる”	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) うちエコ診断を知人等に勧めたいと思いますか？

勧めたい まあ勧めたい どちらともいえない あまり勧めたくない 勧めたくない

(4) 診断内容に対してご意見・ご批判・ご要望等ありましたらお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

参考4-4. -1 対策実施率(受診者属性別)の検証

受診者属性(受診者管理表のデータ)から家庭状況パターンを抽出し、この家庭パターンごとに排出量等との関連を把握する。次年度以降の受診者募集、広報戦略やガイドライン策定等への反映を想定する。

SEQ	検証内容	検証結果の活用
(1)	地域ごとに、どのような家庭状況パターンがあるのか傾向を把握する(クロス集計、主成分分析)	診断員へ資料として提供、マニュアルへ反映
(2)	家庭状況パターンごとに、提案内容およびその数値が適切であったか分析する(主成分分析)	提案内容の検討、ロジックの見直し、マニュアルへ反映、家庭のCO2排出量原単位の見直し
(3)	実行された項目のパターンを分析をする(主成分分析)	診断員へ資料として提供、(6)のパラメータ
(4)	家庭パターンごとに、実行された項目の傾向について分析する(対策ごとの重回帰分析)	診断員の提案方法の検証、マニュアルへ反映
(5)	対策提案ごとに、それを提案するのに効果的な家庭の割合の算出(クロス集計)	家庭のCO2削減ポテンシャルの再計算
(6)	主要な家庭パターンを抽出し、診断を行うランダムデータを生成(因子分析によるランダムデータ生成)	診断ロジックの改善、エキスパートシステムの提案

参考4-5. -2 対策実施率(地域別)の検証

主に、事後アンケートの集計を通して、以下のような検証を行うことを想定している。これにより、主に現状のうちエコ診断の効果を検証し、診断の方法や診断ソフトの改善に反映することを想定する。

SEQ	検証内容	検証結果の活用
(1)	提案項目ごとの削減量の集計により、提案内容およびその数値が適切であったかを検証する(単純集計)	設計書と差異の確認、診断ソフトへ反映
(2)	提案内容について傾向を把握する(クロス集計)	診断員へ資料として提供、(3)のパラメータ
(3)	提案項目ごとの削減効果(1)を気候区分ごとに集計し、気候の違いによる対策項目の選択性を把握する。(クロス集計)	気候区分による効果的な(選択され易い)対策提案のまとめを実施する。

参考4-6. -3 対策実施率(診断員属性別)の検証

主に、事後アンケートの集計を通して、以下のような検証を行うことを想定している。これにより、主に診断員の属性による影響を検証し、優良診断員の事例を整理するとともに、診断員の養成等に反映することを想定する。

SEQ	検証内容	検証結果の活用
(1)	診断総数における診断員属性別の診断数の確認、診断実施可能性の検討(単純集計)	次年度の診断員募集の対象を検討する
(2)	診断員属性から見た削減提案数、削減量等の把握(クロス集計)	次年度の診断員募集の対象を検討する 研修内容への反映
(3)	診断員属性から見た診断時間等の診断方法等の把握(クロス集計)	研修内容への反映
(4)	診断員属性ごとの受診満足度の分析	次年度の診断員募集の対象を検討する

参考4-7. 受診者満足度との関連

満足度調査結果の分析や、満足度調査と事後アンケートとの関連分析結果から、次年度以降の受診者の満足度向上に向けた検討を行う。

SEQ	検証内容	検証結果の活用
(1)	満足度調査から、どんな診断が満足度が高いのか分析する(クロス集計、主成分分析)	満足度向上のための改善提案
(2)	満足度調査から、満足度を引き起こす構造について分析する(相関分析)	満足度向上のための改善提案
(3)	満足度調査から、原因(診断員態度、うちエコ診断ソフトの機能等)が、満足度に与える満足度への影響(重回帰分析、パス解析)	満足度向上のための改善提案
(4)	満足度調査と事後アンケートとの関連分析から、満足度の高い削減対策項目と削減量等の関連分析を行う(クロス集計、主成分分析)	対策効果の検証
(5)	満足度調査と事後アンケートとの関連分析から、どんな属性の家庭が、満足度が高いのかを分析する(重回帰分析)	ターゲットの選定、アプローチ方法の検討